

平成27年度 仙台大学大学院 授業概要

授業科目名	スポーツ科学特講		担当教員	内丸 仁・久能和夫			
	Special study of Sport Science (L.)						
領域水準コード	R2	単位数	2	履修方法	選択	授業の方法	講義
授業の概要							
1年次後期の「スポーツ科学指導演習」において学習した教授技法を1年生に対して実際に講義する内容である。内容はスポーツ科学の基本的な知識や理論であり、演習で作成した指導計画書および指導上の留意事項に基づき実践する。1年生は受講生として講義を聞くが、次年度は逆の立場であることを認識することが重要である。							
授業の一般目標							
スポーツの専門的指導者として求められる教授技法を2年生の講義実践に基づき獲得しようとする。ここでは特にスポーツ科学の知識や理論を、学習者に教授するために適切な内容・水準・方法を体験し、後期の「スポーツ科学指導演習」にうまくつなげられるようにすることを目標とする。							
授業の到達目標							
■ 認知的領域	スポーツ科学を教授するために適切な内容や方法を体験し、適切な教授技法の留意点を理解する						
■ 情意的領域	学習者として教授者の意図に沿えるように努力する						
■ 技能表現的領域	教授者の事前予習に備えて学習しておく、授業後のレポートやポートフォリオにも積極的に取り組む						
授業計画(全体)							
2年生による学習指導計画書に基づく講義を1年生が学習者として受講する。予習への取り組み(教授者によってはある)、授業日の学習者としての役割(質疑応答や授業評価等)、また課題(教授者によってはある)への取り組みといった流れが一般的なものである。							
授業計画(詳細)							
授業テーマとその内容							
<p>「スポーツ科学指導演習」の内容は下記の通りであり、これらを通して構築された講義を学習者として受講する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 一般的な学習指導計画書の立案のための基本知識や方法などについて学習する。 その方法に従って「スポーツ科学特論」の学習指導計画書概要案をグループごとに立案する。 立案した学習指導計画書概要案をプレゼンテーションする。 各グループが立案した学習指導計画書概要案をもとに、最終的に1つの学習指導計画書概要案を策定する。 同概要案が確定したら、人文、社会、自然などの分野に単元をわけて、各単元についてさらに授業時間ごとの詳細な学習指導計画書をグループごとに立案する。 立案した同計画書をグループごとにプレゼンテーションする。 実際の指導の際に必要な技法や注意点など、指導上の留意事項について各グループでリストアップする。 同学習指導計画書の一部について各グループの代表者が実際に授業を実施する。 行われた授業について相互に評価しあう。 これらの作業を踏まえたで最終的な学習指導計画書ならびに指導上の留意事項について策定する。 							
授業外学習の指示等							
<ol style="list-style-type: none"> 教授者によっては予習の必要があるので、その場合はしっかりと準備をしておくこと 教授者によっては授業後に課題を指示することがあるので、その場合はしっかりと取り組むこと その他必要に応じてそれぞれの教員(担任)に相談すること 							
成績評価方法(方針)							
授業日の意欲的関与度+授業評価+授業外レポート+ポートフォリオにより総合的に評価する。各評価指標の割合(%)は2年生の授業内容・方法によって異なるので、それらを踏まえて配分する。							
成績評価方法(詳細)					履修上の注意(受講に当たって学生に望むこと)		
	到達目標	認知的領域	情意的領域	技能表現的領域	評価割合(%)	1.〇回以上欠席の場合、単位認定の欠格事項とする。	
成績評価方法							
定期試験(期末試験)							
小テスト・授業内レポート	◎			◎			
授業外のレポート	◎						
ポートフォリオ			◎	◎			
出席			◎		欠格条件		
その他			◎				
関連科目	「スポーツ科学指導演習」「スポーツ科学概論」						
教科書				参考書	「成長するティップス先生」(名古屋大学) 「シラバスの作成」(山口大学FDハンドブック)		
連絡先	内丸:C棟2階/久能:A棟3階						